



諫早高校第3学年通信

No.19

平成30年8月29日

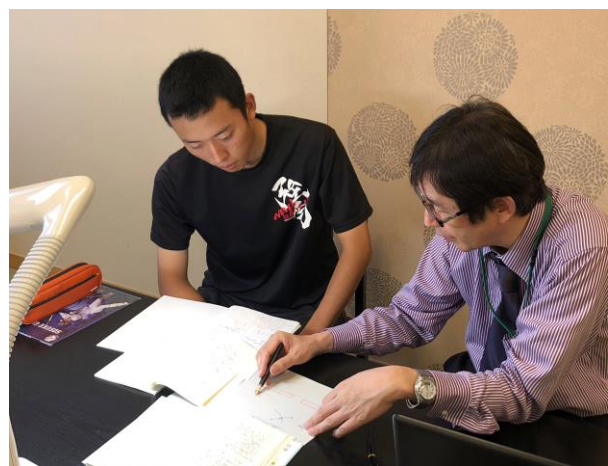
第四日目 (松添先生檄文) 合宿の価値は

「没頭してみれば どういうことはない！」(高木先生 日めくり檄文)
→ 時を忘れるほど学習した時こそ、本当の「刻」が見える。



こういう合宿は、今することはもちろん大事だけど、合宿後が大事なんだと改めて思った。先生方も違う学年から質問を受けに来てくださったり、OGさんの話や校長先生の話聞いて、学校全体で支えられて成り立っている合宿だなと感じました。修学旅行で書いた時の自分へのメッセージにも刺激されて、今日は一段とやる気を出して頑張りました。
(女子)

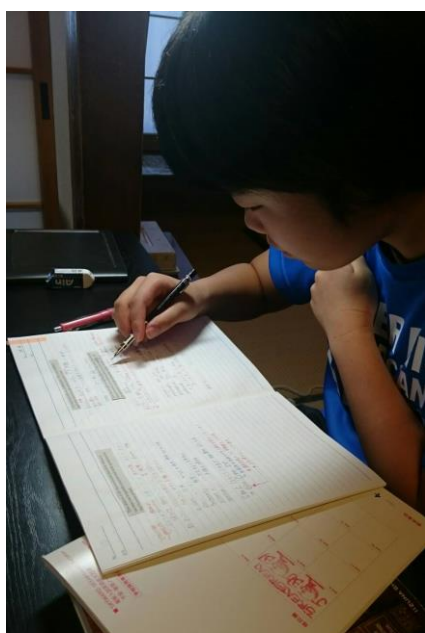
お風呂からあがったあとに、ずっと部屋の人としやべってしまいました。その間にたくさん暗記ができたと思いました。これから隙間時間を使って、合宿中に覚えるべきことを覚えていきたいです。校長先生がおっしゃったように、質を高められるように努力したいです。
(女子)



今日の目標であった「1日があっという間に過ぎるように質を高める！」は達成できたかなと思います。今までで一番、時間を短く感じました。
(女子)

1年生の時の学習合宿より期間も長いし、内容も濃すぎるけど、勉強がいや～！とならないのは、やはり意識の違いなんだとこの合宿を通して感じています。
(女子)

休み時間には班のみんなで分からないところを質問しあっています。お互いに分からないところを共有することで、自分の理解も深まるような気がしています。
(女子)



山下先生 (71回生 2年1組副担任) より

～与えられた時間はみな同じ～ 71回生のみなさん、本物の Legend になってください！



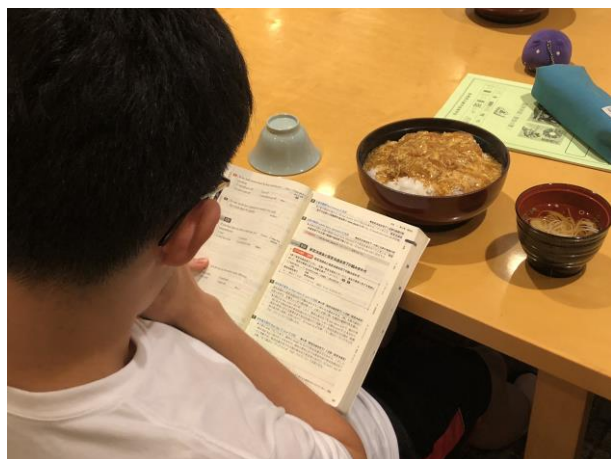
諫早高校第3学年通信

No.20

平成30年8月29日

第5日目 (松添先生徹文) 人生の選択を

「自分を知れば、どうということはない！」(高木先生 日めくり徹文)
→ 自分に合わせた計画こそ自分の器をより効率よく大きくできる。



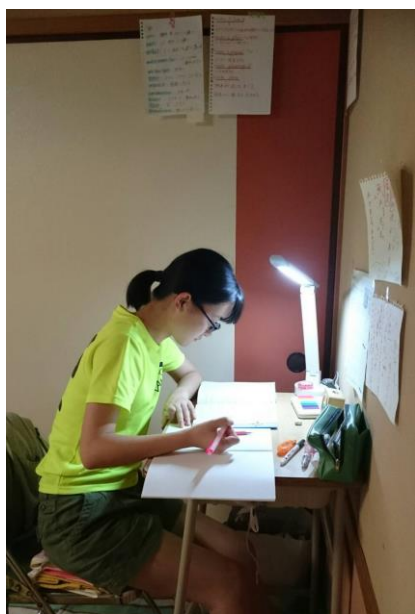
良い集中ができた。休み時間も積極的に学習に取り組んでいると班員のみんなもそれぞれ学習の態勢に入っていて、良い雰囲気だと思うと同時に、感謝の気持ちを持ちました。(男子)

今日発見したことは、「やればやるほどやることはどんどん見つかっていく」ということだ。改めて実感した。もっと高みを目指して頑張りたい。(男子)

合宿がはじまるまで、こんなにきついスケジュールで勉強ができるだろうかと心配だったけれど、いざやってみると、日常生活としてフィットできるくらい自分の生活リズムとして合っている気がする。もう少し自分に合わせた形でこれからもこのリズムを活かしていきたい。(男子)



今日発見したこと。休み時間になってすぐ席を立つ人がいなくなった。2コマ続けて勉強しても集中できている証拠だと思う。この学習も丸々1日使えるのは明日で最後だ。今まで培ってきたことを合宿が終わってからも活かせるように、明日は最高の集中力で頑張りたい。(男子)



今日は先生方のお話を聞いていろいろな人に支えられていることを改めて実感しました。また、そんな人々の存在を頼もしく感じました。自分が何不自由もなく勉強できる環境に感謝し、受験と戦う茶レンジャーとして頑張ります。(女子)

瀬川先生 (71回生 2年2組担任) より

I wish I could. I hope I can. I'm sure I will! ~「願望」から「確信」への転換~



諫早高校第3学年通信

No.21

平成30年8月29日

第六日目 (松添先生徹文)

鳴らないスマホ、の意味

「やってみれば どうってことはない！」(高木先生 日めくり徹文)

→ やってみるだけで自分は大きく変わる。行動が自分を変える。

自分が変わると行動が変わる。そしてまた、自分が変わる。



今日は世界史の質問をした。ごちゃごちゃになって理解できなかったところが、嘘のように分かり、とてもスッキリし、「学ぶとはこういうことか」と感じた。また、お風呂が最後だったので散歩ができたのはとても楽しかった。**逃げずにやってきて良かった**と思った。
(女子)

今日の一番の収穫は、「勉強の仕方」をちゃんと知れたことです。
(女子)

昨日の反省を活かして十分に睡眠をとることができたので集中力を保つことができた。しかし、自分にとって難しい問題ばかりに直面しているので**全然解けなくて自信がなくなってきた**。それでも、**あきらめずに徹底的に復習して自力で解けるようにして、逆に自信につなげたい**。先生からも言われたように、理解できるまで問題に取り組む姿勢を大切にしていきたい。
(男子)



自分なりに今日が一番集中して学習できたと感じた。自分の課題としている文法や単語にもしっかり向き合い、課題解決に大きく近づくことができたと思う。明日は午前中の2コマだけだが、気を抜かず**限界を超えられるよう頑張りたい**！
(男子)

時間の経過の速さに焦っていてもしょうがないので、色々なことに手を出して表面しか分からなかったり、丸暗記にならないようにしよう、と**勉強の向き合い方を考える日になった**。
(女子)



正林先生 (附属中3回生担当) より 「Kites rise highest against the Wind —not with it.」

厳しい風に打たれたとしても、諦めずに正面から立ち向かっていく決意があなたの真の力を引き出し、大きく飛躍する機会をもたらしてくれます。風に流されず、自分が信じる道を突き進んでいこう。



諫早高校第3学年通信

No.22

平成30年8月29日

最終日 (松添先生徹文)

合格、心の向こうに

「目標への行動ができれば どうってことはない！」(高木先生 日めくり徹文)
→ やらねばならぬことを知っていることは強いこと！あとは突き進むのみ！

ー 学習合宿閉校式 生徒代表挨拶 ー

みなさん、こんにちは。1週間の学習合宿お疲れさまでした。自分の限界を突破することはできましたか。

私はこの合宿で、1日11時間の学習をすると目標に掲げ、決まった時間以外にも自学をしていきました。その中で、問題を理解できたときや解法をひらめいたときに勉強の楽しさを強く感じることができました。

それと同時に今までの自分の勉強への取り組み方も質の高さもまだまだ甘かったことがよくわかりました。

合宿は今日で終わってしまいますが、家に帰ってからの私たちの行動によってこの価値が決まっています。そして将来も決まってくると考えます。この1週間の合宿を無駄にしないように今日からまた頑張っていきたいです。

最後に1週間私たちの生活の世話をしてくださった青雲荘のスタッフの方々、質問に対応してくださった先生方、合宿費を出してくださった保護者に感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。そして、みんなで限界のその先を目指しましょう。

生徒代表 (男子) 挨拶

みなさん、こんにちは。この7日間の合宿、どうでしたか？テレビや本、音楽、おかし、そして家族やお母さんのおいしいご飯など、私たちの生活を構成してきた大好きなものたちから、むりやり自分を引き離してがんばったこの合宿、どうだったでしょうか。私はこの7日間で、自分の2つの変化に気づきました。

1つ目は心の変化です。私が一番苦手な教科は英語です。嫌いな教科も英語でした。でもこの合宿で、初めて「英語が楽しい。もっと理解したい。もっとやりたい。」と思えました。自分で本当に驚きました。きっと、毎日じっくり時間をかけて英語に向き合えたからだと思います。

2つ目は体の一部の変化です。右手の中指にペンだこの赤ちゃんができました。私は、200日前集会の時、後田先生のお話を聞きながら、「具体的にどのくらい勉強すればペンだこってできるんだろう」と思っていました。この合宿でできたということは、1日10時間ぐらい勉強すればできるということだと思います。毎日10時間勉強するのは厳しいかもしれませんが、この合宿で身につけたことを活かして、この赤ちゃんを立派に育て上げられるように頑張ります。

みなさんもこの7日間で、たくさんの良い変化があったと思います。でも、計画通りに勧めることが出来ていた人はたったの3割。きっと焦っている人も多いと思います。そんな人に聞いてほしい言葉があります。イギリスの著述家であるスマイルズさんの言葉です。

“The shortest way to do many things is to do one thing at a time.” (多くのことをする手っ取り早い方法は、一度に1つずつ片付けることだ。) **焦ってもがくのではなく、こつこつと進み続けていきましょう。**

最後になりましたが、旅館のスタッフのみなさま、7日間お世話になりました。みなさまからのおいしいご飯をはじめとする、あたたかい応援のおかげで、私たちは頑張りきることができました。本当にありがとうございました。今、私たちの回りには、いろいろなことを犠牲にしてまで私たちのために尽力してくださる、ゴレンジャーがたくさんいらっしゃいます。**私たちはチャ(茶)レンジャー**です。受験という敵に打ち勝つべく、ゴレンジャーを信じ、自分を信じ、全員で心を1つに全緑前進頑張っていきましょう！

生徒代表 (女子) 挨拶